

男女共同参画だより

メッセンジャー

問い合わせ先

男女共同参画推進課
TEL(36)0048
FAX(36)0320

男女共同参画推進センター「ゆい」

TEL(36)0250
FAX(36)0269

薬物乱用から子どもたちを守るために

ダメ。ゼッタイ!

テレビや雑誌、インターネットからのさまざまな情報の中には、薬物乱用に関する情報も紛れ込んでいて、子どもたちは、危険な誘惑にさらされています。

私たち大人が、薬物乱用の怖さや有害性について正しく認識し、周りの環境や友人からの影響を受けやすい子どもたちを、危険な薬物から守りましょう。

*薬物とは、脳の神経細胞に作用して、気分を変えらるる物質のこと。使い続けると、健康を損なうこともあります。

薬物乱用とは？

社会のルールから外れた方法や目的で、薬物を使うことです。覚せい剤などの違法薬物は、たとえ1回だけの使用でも乱用になり、同時に、犯罪となります。また、医薬

品を医療目的以外に使うことも薬物乱用になります。

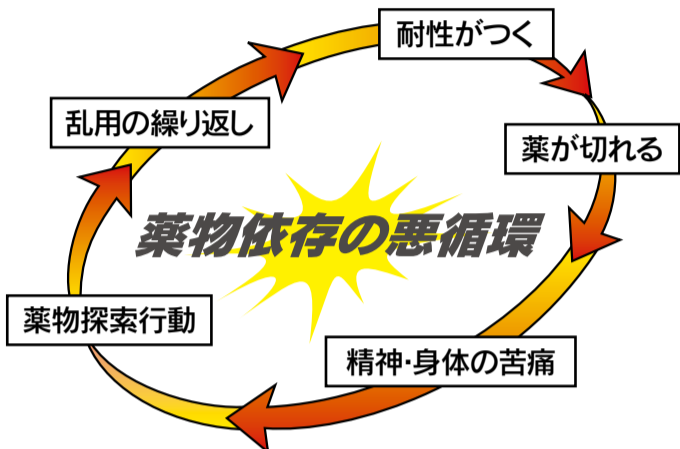
乱用される恐れのある薬物として、覚せい剤、大麻、コカイン、MDMA、向精神薬、シンナーなどがあり、これらの取り扱いは、法令で禁止か制限されています。

薬物依存の悪循環

薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、「依存性」と「耐性」です。

●「依存性」とは、何度でも繰り返して使いたくなること
●「耐性」とは、繰り返して使っているうちに、それまでと同じ量では効かなくなること

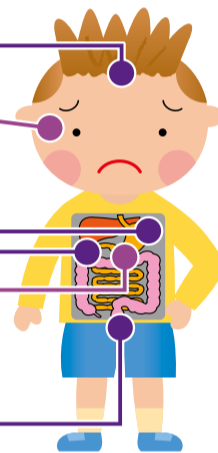
「1回だけ」と思って使った人も、薬物の「依存性」と「耐性」で使う量や回数がどんどん増えていき、自分の意志でやめることができなくなり



私たちの脳は、20歳ごろまで成長するといわれています。特に、小学生から高校生までの時期は心身ともに発達する時です。この時期に薬物を乱用すると、脳や体の成長が止まり、感情のコントロールができず、意欲がなくなるなど、心身の発達が損なわれてしまいます。

体への悪影響

- 脳: 萎縮する
- 目: 眼底出血がおこる(視力低下、失明)
- 気管支・肺: 急性気管炎で死亡することもある
- 骨髄: 赤血球が作られなくなる、貧血になる
- 肝臓: 食欲不振、黄疸、腹水がたまる
- 胃: 出血、胃痛、吐き気、嘔吐
- 生殖器: 萎縮する、生理不順、生殖能力の低下



子どもを守るチェックポイント

子どもに、次のような行動などが見られたら、注意が必要です。

- 帰宅が遅くなった
- 友人関係がよく分からない
- 食事を家族と一緒に食べなくなった
- 金使いが荒くなった
- 目を合わせて会話をしなくなった
- うそが多くなった
- 部屋に一人でもることが多くなった
- イライラしている
- 理由の分からないお金を欲しがらなくなった
- 電話やメールに知らない人から連絡がある

子どもに、薬物に手を出させないための7カ条

親子の会話やコミュニケーションを取ることが、子どもの薬物乱用を防ぎます。

- ① 子どもの心と体の変化について理解しましょう
- ② 毎日、家族の会話を大切にしましょう
- ③ 子どもの話には、常に耳を傾けましょう
- ④ 友情を培い、悪い誘いを拒否できる勇気を育てましょう
- ⑤ 子どもが、家族や学校の先生に、いつでも相談できるようにしておきましょう
- ⑥ 子ども自身で、健全な決断ができるように育てましょう
- ⑦ 家族そろっての、コミュニケーションの場を大切にしましょう

薬物乱用をなくすためには、多くの人々が正しい知識を身につけて、薬物乱用を許さない社会環境をつくるのが大切です。私たちの身近な職場、学校や家庭から、薬物乱用防止の輪を広げてください。

薬物乱用は1回でも「ダメ。ゼッタイ！」。

相談情報 誰でも相談できます(相談無料)

相談事業名	場所	相談日	時間
① 心と生き方の相談 (面接・電話相談) *事前申込不要 ☎(36)1156 ✉kokoro@city.munakata.fukuoka.jp	市役所本館 1階・相談室 (101会議室横)	月～金曜日 (祝日を除く)	13:00 ～ 17:00
② 法律相談 *弁護士が、離婚など女性を取り巻く問題の相談を受け付けます *事前申込必要。男女共同参画推進センター「ゆい」☎(36)0250へ	男女共同参画推進センター「ゆい」	第3火曜日	13:00 ～ 16:00

飲酒運転撲滅に向けて 生命のメッセージ展



福岡都市圏が一体となって、「飲酒運転はしない、させない、絶対許さない」というメッセージを広く発信。飲酒運転撲滅に向けた気運を高めていくため、「生命のメッセージ展」を開催します。



メッセンジャー31体を展示します

- 期間 2月19日(水) ~ 同24日(月) 8:30~17:00
- 場所 市役所1階・ロビー

生命のメッセージ展とは

飲酒運転などの交通事犯・事故、いじめ、医療過誤、一気飲ませなどで、理不尽に命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。犠牲者一人一人の等身大の人型パネルを「メッセンジャー」と呼び、その胸元に、本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証し」として靴を置き、命の大切さを訴えます。

今回は、飲酒運転を撲滅させる活動の一環として、生命のメッセージ展を開催します。

■ 問い合わせ先 経営企画課 ☎(36)1192